

富士宮イベント

年間を通じて、さまざまなお祭りや催しが開かれます。富士山や富士宮市の歴史に関わる古くからのお祭りや、市民全体で盛り上げるイベントなど、この機会にぜひご参加ください。

3月 富士宮ますつり大会
期間：3月上旬
場所：神田川・澗井川

清流神田川を舞台に市の魚「にじます」釣りを競います。富士宮市に春を告げる伝統の大会です。



4月 内房たけのこ桜まつり
期間：4月上旬
場所：内房稲瀬川沿い

400本の桜と菜の花が彩る稲瀬川沿いで採れたてのタケノコの販売や農産物の直売等を行います。



4月 狩宿さくらまつり
期間：4月中旬
場所：狩宿下馬桜周辺

国内最古級のヤマザクラといわれ国の天然記念物、日本五大桜のひとつでもある下馬桜の周辺で、お茶会、短歌会、舞台公演など行われます。



5月 流鏝馬まつり
期間：5月4～6日
場所：浅間大社ほか

源頼朝が富士の巻狩りを行った際に奉納された古式ゆかしい行事です。5日午後3時から行われる勇壮な流鏝馬は圧巻です。



6月 梅の里 稲子まつり
期間：6月上旬
場所：新稲子川温泉ユートリオ

稲子特産の梅をたっぷり堪能できるほか、あまごのつかみ取り、芝川おどりコンテストが開催されます。



6月 ミス富士山コンテスト
期間：6月下旬～7月上旬
場所：浅間大社

ミス富士山コンテストを行うとともに地元の産業を生かし、献茶式やかみどりコンテストを開催して開山の前祝いをします。



7月 富士山お山開き
期間：7月10日
場所：浅間大社・村山浅間神社

英国大使などを招き、登山一番バスの出発式、日英交流会、オールコック祭、手筒花火などが行われます。



8月 富士山御神火まつり
期間：8月上旬
場所：浅間大社・商店街

富士山頂で採火した御神火を神輿に点火し練り歩きます。見所は勇壮な神田川昇りで当日見物席が販売されます。



8月 宮おどり
期間：8月上旬
場所：浅間大社周辺

小中学生から大人まで約6千人が市内目抜き通りを埋め尽くし、昼から夜にかけて踊り一色となります。



11月 富士宮まつり(浅間大社例大祭)
期間：11月3～5日
場所：浅間大社ほか

祭囃子も賑やかに20台の山車屋台が魅せます、競り合います。富士宮囃子は県の無形民俗文化財。露店巡りも楽しめます。



11月 信長公黄葉まつり
期間：11月中旬
場所：西山本門寺

樹齢400年の大銀杏が黄金色に輝く頃、火縄銃の演奏や武者行列、B級グルメや特産品販売などが楽しめます。



11月 柚野の里まつり
期間：11月下旬
場所：柚野地区

大鹿窪遺跡の歴史と里山の自然あふれる柚野を楽しみまつりです。縄文時代の体験コーナーや出店が行われます。



1月 たこたこあがれ in 富士山
期間：1月中旬
場所：朝霧アリーナ

風揚げコンテストや凧作り教室、どんど焼きなどを実施。名物タコ型の大凧をみんなで揚げてみませんか。



日本一のパワースポット ～神秘のパワー漂う富士山信仰の聖地～

富士宮市観光ガイド 浅間大社エリア



拝殿と本殿

国指定「史跡富士山」世界遺産構成資産

富士山本宮浅間大社

富士山の八合目以上を所有する名社

大同元年(806年)征夷大将軍坂田村麻呂が、山宮の地から遷宮したと伝わり、全国に数多くある浅間神社の総本宮で、平成18年に鎮座1,200年を迎えました。祭神は美穂と貞淑の誉高い木花之佐久夜毘売命で、家庭円満・安産・子安・水徳の神とされ、火難消除・航海・漁業・農業等の守護神として全国的な崇拝を集めています。木花という御神名から

桜が御神木とされており、境内には500本もの桜が奉納されています。現在の本殿、拝殿、楼門などは徳川家康の寄進によるもので、本殿の建築様式は浅間造りと称され、国の重要文化財に指定されています。また、家康公は富士山の八合目以上を大社に寄進したとされ、現在境内地となっています。富士宮市宮町1-1 TEL(0544)27-2002



富士山本宮浅間大社本殿
浅間造(二重の楼閣造)は、日本で類を見ない建物国の重要文化財に指定



「国指定特別天然記念物」 湧玉池

本殿の東側にあり、富士山の雪解け水が岩の間から湧き出ている湧玉池。四季を通じて水温が摂氏14度、湧水量も1日20トンと豊富で、憩いの場として親しまれ「平成の名水百選」に選ばれました。平安時代末期に始まった富士登拝は、室町時代には一般にも広まり、富士宮口は富士山表口

と称せられ、関西方面から来る道者、さらに本宮を崇敬する関東、東北の道者もこの道を選びました。彼等は本宮に参詣し、更に湧玉池にて齋戒沐浴して登山するのを習いとしていました。(現在は行われていません) まちなかを流れる神田川の源流となっています。

つかうべき 浅間なる御手洗川のそこにわく玉 平兼盛(平安の歌人)

浅間大社(まちなか)エリア



- ・安全、火難消除、農業などの守護神
- ・富士山本宮浅間大社の門前町
- ・富士山、水、灯りなどの文化や歴史散策の拠点



注目スポット
世界遺産「富士山」と富士宮
神秘オーラ漂う富士の聖地

古来、噴火を繰り返す富士山は神が宿る山として崇められてきた「遥拝(ようはい)の山」でしたが、鎌倉時代には、修験者が入山(登山)修行を行う「登拝の山」へと性格を変化させていきます。やがて室町時代に入ると富士山信仰はさらに盛んになり、「道者」として一般の人々も「大宮・村山口登拝道」から組織的に富士山参詣を行うようになりました。富士山の噴火を鎮めるために建てられたのが浅間神社で、全国にある浅間神社の総本宮が富士宮市にある「富士山本宮浅間大社」です。また、市内には浅間大社の旧地「山宮浅間神社」、修験者の拠点や登山者の宿泊地としての役割を担った「村山浅間神社」、富士講の開祖長谷川角行が修行した「人穴富士講遺跡」や「白糸ノ滝」など各時代を代表する構成資産が点在しています。



富士山世界遺産センター

静岡県富士山世界遺産センターは平成25年6月にユネスコの世界文化遺産に登録された「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点施設です。センターでは、「永く守る」、「楽しく伝える」、「広く交わる」、「深く極める」の4つの柱を事業として、国内外の多くの方に歴史、文化、自然など、富士山を多角的に紹介しています。

開館時間/9:00～17:00(7,8月は18:00)
※最終入館は、閉館30分前
休館日/毎月第3火曜日、施設点検日
観覧料/300円
大学生以下、高齢者、障害者は無料
お問合せ/TEL(0544)21-3776

地元蔵元の造り出す銘酒

酒蔵開き

- 1月** 富士山本宮浅間大社と『富士高砂酒造』蔵開き
行程：富士山本宮浅間大社→萬幻豚(さの萬)→富士高砂酒造→市内自由散策
- 2月** 上野の里まつり『富士正酒造』『牧野酒造』
行程：大石寺→富士正酒造→牧野酒造→下条妙蓮寺
- 3月** 富士山麓の田園風景と『富士錦酒造』蔵開き
行程：白糸の滝→狩宿の下馬桜→柚野の棚田風景→富士錦酒造

- 富士高砂酒造 TEL(0544)27-2008
- 富士正酒造 TEL(0544)52-0313
- 牧野酒造 TEL(0544)58-1188
- 富士錦酒造 TEL(0544)66-0005
- バイエルンマイスタービール TEL(0544)51-3311
- 富士山ワイナリー TEL(0544)52-0055

